

『まなびあい』第14号

目 次

■口絵—第13回年次大会の様子 (2020.11.7)

分科会／第6回まなびあい研究実践奨励賞授賞式／ワークショップ…………… 1

■巻頭言

沼澤 秀雄…………… 11

■第13回年次大会の報告

ワークショップ 『新しい生活様式とコミュニティ

——いまここで問われるコミ福力!』

桑原 涼 山田 安里沙 佐藤 めぐみ

新谷 健介 山内 沙織 富吉 貴浩

長沢 裕…………… 13

分科会発表報告書

社会福祉と性教育

飯村ゼミ …………… 41

地域コミュニティにおける移民の子どもの居場所に関する研究

～認定NPO法人多文化共生センター東京を事例として～

二村 彩葉…………… 44

AI時代を生きる子どもたちへの教育

川崎 泰雅 (藤井ゼミ I) …………… 47

～生活介護事業所でのボランティア活動から考える障害者と共に生きる社会～

吉田 佑菜 (藤井ゼミ II) …………… 50

フィリピンにおける農村発展のあるべき姿

：Short-Term Study Abroad Programs in Economics (SSA) でのインターン
経験と先行研究の分析を通して

岡崎 月夢 (鈴木ゼミ I) …………… 52

フィジーにおける建設ボランティア活動への参加とその考察

：立教大学 Eddy を通して

平澤 ことり (鈴木ゼミ II) …………… 56

フィンランドに学ぶ幸せな国の仕組み —ジェンダー平等と幸せの関連性とは？	大槻 征也（鈴木ゼミⅢ）	60
障がい者の差別偏見、就労の問題と障がい者アート	藤井ゼミⅢ	65
Z世代が社会貢献活動に参加し、活躍するには —3ステップで考える課題と解決策—	藤井ゼミⅣ	68
外国人児童生徒等にとって有用な教育政策の展開とは	隈 明子（斉藤ゼミ）	71
「共生社会の実現のために」 —日本で暮らす外国人を取り巻く問題について—	上田 汐（鈴木ゼミⅣ）	74
北朝鮮の現状から考える朝鮮半島の平和：人の視点からみる克服	姜 泰均（鈴木ゼミⅤ）	79
長期間におよぶ身体運動ブランクからのリハビリテーション	沼澤ゼミⅠ	84
コーチングにおける選手への関わり方について —ポジティブかネガティブか—	沼澤ゼミⅡ	87
学生スポーツにおけるオンライントレーニングの効果的な実施方法	沼澤ゼミⅢ	90
柔道パキスタン代表としてのオリンピックへの夢と学校建設 ～新型コロナウイルス禍での決断～	豊田 あみな（鈴木ゼミⅥ）	94
コミ福公務員の会 「新型コロナウイルス感染症への自治体行政における対応と今後の展望」	大冢賀 政昭	97
コミュニティ福祉学部 現役学生による座談会 「新しい生活様式とコミ福での学び～新型コロナウイルス感染症がもたらしたもの」	大冢賀 政昭	100
2020年度総会報告		102

■論文

私の食べている味噌の行く末	川嶋 みずか……………	107
まちを自分の足で歩き、自分の肌で感じとる文化政策 ——ガイドブック『くにたち時層のたび』の作成をめぐる——	河東 仁……………	117
尊厳ある「生と死」に関する一考察 ～安楽死を巡る最近の話題と動向から～	橋本 正明……………	123
日本における地産地消の現状と展望 —持続可能なフードシステムの実現に向けて—	山口 敦大……………	134

■新任教職員の研究紹介

これまでの研究を振り返って	川村 岳人……………	143
利用者の well-being につながる福祉サービス評価をめざして —リサーチクエスションの変遷から福祉施設の研究を振り返る—	重田 史絵……………	147
ソーシャルワーク教育においてロールプレイを活用する意義についての一考察 —自分に働きかけることを体験する授業の試み—	鈴木 あおい……………	153
福祉国家の再編と若者政策——比較福祉政治からの接近	濱田 江里子……………	161
『ロビイングの政治社会学』『避難と支援』の自著紹介と、今後に向けて	原田 峻……………	164
教育・福祉・文化から子どもの育ちを考える	山田 恵子……………	171

■研究ノート

人口減少が進行する地方における統合型リゾート（IR）の誘致 —長崎県佐世保市ハウステンボスのこれからの課題と可能性—	木下 一雄……………	177
---	------------	-----

Syria, what happened and why it happened :Once-beautiful ancient cities that were my homeland Ghamra Rifai,Suzuki Yayoi	184
---	-----

■実践記録・実践報告

より快適な学生生活を目指した活動 —西東京市の施策が改善されるまでの経緯 青木 悠弥	198
アクティビストたるもの —言いたいことを言う自分を生きるために— 浅井 春夫	208
「ぼくの仕事は通い夫」 —障害者のグループホームというところ— 藤井 直樹	220

■エッセイ

一本のクヌギの木 大石 和男	227
現実論 ——デカルトの「真」とフッサールの「信」—— 権 安理	231
コロナ禍が慢性疾患患者の日常にもたらしたもの 酒井 七海	236
そして、電話は掛かってきた！ 芝田 英昭	240
社会人になって思うこと 西村 鈴	242
初めての研究休暇から続く「違和感」に満ちたトホホな日々 結城 俊哉	247

■映画評

公共への問いとメッセージ ——映画「パブリック 図書館の奇跡」をめぐって—— 権 安理	251
---	-----

■退職された先生からのメッセージ

ありがとうの思い出	岡 桃子	256
青年期のコミュニティ福祉学部での9年を振り返って	平野 方紹	262
三宅、コミ福辞めたってよ	三宅 雄大	264

■第7回研究実践奨励賞発表

立教大学コミュニティ福祉学会

第7回「研究実践奨励賞」選考報告

	研究実践奨励賞選考委員会	267
(受賞のことば)		
『自分ごと』として捉える支援	大橋 理美	270
(受賞のことば)		
「当たり前」だったことが「当たり前」でなくなるコロナ禍で	島田 将太	271

■リレーメッセージ

震災と私

—自分の夢を見つめ直したお話—

	君塚 直人	272
--	-------	-----

■『まなびあい』第14号をお読みにになった方へ

『まなびあい』第14号 研究実践奨励賞推薦のお願い	275
推薦書	276

■会則等

立教大学コミュニティ福祉学会会則	277
「まなびあい」投稿規程	279
論文、研究ノートの執筆要領	281
編集委員会規程	283
研究実践奨励賞募集要綱・細則	284
執筆者一覧	286

■編集後記

	287
--	-----